
「日機装社製 BV-UFC 機能を用いた愁訴・処置の低減効果について」に関する

お知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの透析治療データを用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2022 年 4 月 21 日から 2025 年 3 月 8 日の期間に当院で外来維持透析を受けた 40 歳以上 100 歳以下の患者さんを対象にしています。

2. 研究の目的

BV-UFC 機能使用の有無によって透析治療中の愁訴・処置の回数が増えたか調査することを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2025 年 9 月 15 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

ΔBV 値、収縮期血圧、各種血液検査値、体重増加率、除水量及び除水速度、愁訴処置回数、愁訴(血圧低下、気分不快、下肢攣り)・処置(下肢挙上、補液)内容

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である岡田浩一が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

慢性腎臓病と診断された患者さんの血液透析を実施した際に生じた診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

埼玉医科大学病院 腎臓内科 岡田 浩一(研究責任者)

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望（管理責任者）

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 臨床工学部 吉田 雅毅

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1308（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：yoshida.masaki@1972.saitama-med.ac.jp

○研究課題名：日機装社製 BV-UFC 機能を用いた愁訴・処置の低減効果について

○研究責任者：埼玉医科大学病院 腎臓内科 教授 岡田 浩一